

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：中野保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：安藤文子	定員（利用人数）：120名 （利用者 103名）	
所在地：〒252-0152 相模原市緑区太井152-1		
TEL：042-784-4400		
ホームページ： <a href="https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp">https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp</a>		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：昭和51年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：相模原市		
職員数	常勤職員： 16名	非常勤職員： 23名
専門職員	（専門職の名称） 名	委託医 2名
	保育士 34名	庁務技能員 3名
	保育補助 2名	事務補助 1名
	保育調理員 6名	
施設・設備の概要	（居室数）保育室：5、事務室：1、保育士室：1、調理・厨房：1	
	（設備等）園庭：1	

## ③理念・基本方針

## 【相模原市の保育目標】

意欲と思いやりのある子ども

## 【中野保育園の保育目標】

意欲と思いやりのある子ども（生きる力を身につける）

私たちは「全園児を全職員で」を心掛け、以下のことを目標にしています。

- ・集団の楽しさ、思いやり、感動の実感を持つ中で、自ら考え行動し問題を解決する力を育てていく。
- ・年間を通して行っているリズム運動を友達と一緒に楽しみ、表現力や五感を育て情操を高めていく。
- ・恵まれた自然を生かし、泥んこ遊び、散歩など全身を使って思い切り遊び、健康な体と心を育てる。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

【地域の中の保育園】

相模原市立中野保育園は昭和51年に開園した古い歴史のある保育園です。公立園として地域の中に根ざし、津久井地域の中で育児相談や地域担当職員を配置しての育児支援事業等を展開しながら園に通う園児保護者だけでなく、地域に開かれた育児支援を展開しています。地域住民の方々においては、普段の保育から行事に至るまで庭先から眺めたり立ち寄ってくださったりと、子どもたちに対し愛情をたくさん寄せていただいています。また地域の方による「絵本の読み聞かせ」「リズム運動」「藍染め」「人形劇」等があり多くの方々と触れ合いながら成長していきます。

【心も体も健康に育つ】

園生活では、広々とした園庭や隣接する畑を利用して、泥んこ遊びや昆虫探しとその飼育、畑を耕しての野菜作り等に親しみながら体験型の保育を行っています。その遊びは大きい子から小さい子へと自然と伝承され、遊びが代々引き継がれていくものが多く、中野保育園の土風が感じられます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年10月22日（契約日）～ 令和3年3月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（前回：平成23年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)保育目標「意欲と思いやりのある子ども」への取り組み

園の保育目標を「意欲と思いやりのある子ども(生きる力を身につける)」とし、自分で考えて行動し、問題を解決する力を育むための取り組みを行っています。長年続いているリズム運動は、表現力や五感を育てるために年齢や発達に合ったプログラムで計画的に実施しています。どろんこ遊びや昆虫探し、畑を耕して野菜作り、クッキング、栽培した藍でTシャツを染める等、様々な体験型の保育活動を行っています。園庭に水の入ったバケツを置いて毎朝氷の厚さを観察したり、絵本に登場する馬をグループで作るなど、子どもたちの自らしてみようとする気持ちを受け止め、やり遂げた喜びや達成感を職員が共有しています。子どもが意欲的に関わる事ができる環境を構成し、子ども相互の関わりを大切にす保育を実践しています。

2)保育の質の向上に向けた取り組み

園の自己評価表、保育士の自己評価チェック表による評価を定期的に行っています。2グループに分かれての振り返り会では、各職員が自分の保育についての考えを発表し、助言を受けたり意見交換を行っています。また、各クラス、乳児、幼児、係別の会議でも振り返りを行い、内容は全職員で共有しています。前期の自己評価での反省点を後期に活かせるように、係の職員が中心になって保育の改善を行っています。自主研修会では、重点目標になっているリズム運動や各種の研修報告について情報共有・意見交換を行っています。行事の後や年度末には保護者アンケートを行い、集計結果を分析し保育の改善に活かしています。保育実践を振り返る様々な取り組みを通して、保育の改善や専門性の向上を図っています。

3)子どもと地域の交流

自然豊かな津久井地区の中で、地域の保育園として、子どもたちと地域とのつながりを大切にしています。地域の人たちは、日々の保育活動や行事に関心を寄せて、子どもたちを見守り声かけをしてくれています。藍の栽培や染物の体験、地粉うどん作りなどの

津久井地区ならではの体験や、地域の人による絵本の読み聞かせ、リズム運動、人形劇などが定期的に行われています。子どもたちは、園外保育で自然と触れ合い、近隣の高齢者施設や学校給食センターなどを訪問して様々な人たちと交流しています。中野保育園マニュアルに地域との関わり方について明記しており、全職員が共通認識を持って、地域との関わりを大切にしたい保育活動を行っています。

#### ◇改善を求められる点

##### 1) 地域子育て支援事業再開に向けた取り組み

地域の中の保育園として園の専門性を生かした子育て支援について、地域担当職員が中心となって地域の関係機関と連携して積極的に取り組んでいます。園の誕生会や園庭開放、保育ウィーク、貸出図書等の園内で行う事業の他に、公民館等での親子遊び（りんごのほっぺ・バナナキッズ・ワンツー！あそぼ）などを実施してきました。現在は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施が中断されていますが、地域の福祉ニーズの変化を把握し、内容の評価・見直しを行い、事業の再開時にはさらに充実した取り組みが期待されます。

##### 2) 保護者が信頼し安心して相談できる職員対応への取り組み

保護者が安心して子育てができるように、職員は保育の専門性を生かして対応しています。保育の熟練度が高いゆえに、保護者への支援が強くなり、一部の保護者からは表現がきつい、強い態度であると受け止められています。職員の保育にばらつきもあるとの意見もありますので、保護者への対応を見直し、お互いの理解につながる取り組みが期待されます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

いつも当たり前に行っていることが、当たり前すぎてしっかりした意識のもとで行われていなかったのでは？と気づける機会となりました。

また、何が自分たちの保育の中で足りていないのかを振り返り、改善することができました。

職員関係では、職位やクラスにとらわれないグループで進めてきた結果、職員間の距離が縮まってそこから新たな人間関係が結ばれ、園全体の雰囲気もとてもよくなったと思います。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり